安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

整理番号 TNI 00005
作成日 2005/12/1
最終更新日 2015/1/1

1. 化学物質及び会社情報

会　　社　：大陽日酸株式会社
住　　所　：〒142-8558　東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
担当部門　：SI 事業部　　担 当 者 ：平　　博 司
電話番号　：03-5788-8695　　FAX 番号 ：03-5788-8710
緊急連絡先：SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
メールアドレス： Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
ホームページアドレス：http://stableisotope.tn-sanso.co.jp

化学物質	アセトン
製品名	アセトン-2-^{13}C、アセトン-1,3-$^{13}C_2$、アセトン-$^{13}C_3$、アセトン-d_6 アセトン-^{18}O

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分 2
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外

	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
	急性毒性（吸入： ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 3(麻酔作用、気道刺激)
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 2(血液)
	吸引性呼吸器有害性	区分 2
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

絵表示又はシンボル：

注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気

眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

眠気又はめまいのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による血液の障害のおそれ
飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ

注意書き：

【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
容器を密閉しておくこと。

【応急措置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：無理して吐かせないこと。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚（又は毛髪）に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

単一製品/混合物の区分‥‥‥

管理濃度 ・・・・・・・・・・・・・ ７５０ｐｐｍ
許容濃度 ・・・・・・・・・・・・・ 日本産業衛生学会（９２年度版）：
２００ｐｐｍ； ４７０ｍｇ／ｍ３
ＡＣＧＩＨ（９２―９３年度版）：
ＴＬＶ―ＴＷＡ： ７５０ｐｐｍ；１７８０ｍｇ／ｍ３
保護具 ・・・・・・・・・・・・・・・ 【呼吸用保護具】独立式呼吸器、カートリッジ式呼吸器（高濃度のもの）
【保護眼鏡】安全眼鏡、顔面シールド
【保護手袋】ゴム手袋
【保護衣】ゴム前掛等の保護衣
設備対策 ・・・・・・・・・・・・・ 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。

---

9. 物理及び化学的性質

外観等 ・・・・・・・・・・・・・・・ 無色の液体、典型的なケトン臭。
沸点 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ５６．２℃
融点 ・・・・・・・・・・・・・・・・ －９５．３℃
比重 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ０．８
溶解度 ・・・・・・・・・・・・・・・ 水、アルコール、エーテル、クロロホルム、揮発油に溶解する。
引火点 ・・・・・・・・・・・・・・・ －１８ ℃
発火点 ・・・・・・・・・・・・・・・ ５３８℃
爆発限界 ・・・・・・・・・・・・・ 上限：１３．０ ｖｏｌ％ 下限：２．１５ ｖｏｌ％
蒸気圧 ・・・・・・・・・・・・・・・ ２４.７ｋＰａ（２０℃）
揮発性 ・・・・・・・・・・・・・・・ あり。
可燃性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 極度に引火性があり危険。
発火性 ・・・・・・・・・・・・・・・ １０％水溶液でも引火危険がある。
自己反応性・爆発性 ・・・・ 強酸化剤と接触すると爆発性過酸化物を生成することがある。日光や空気にさらしておくと過酸化物を生成し爆発性となる。
粉じん爆発性 ・・・・・・・・・・ 該当しない。
その他 ・・・・・・・・・・・・・・・ 相対蒸気密度（空気＝１）：２．０
２０℃での蒸気／空気混合気体の相対密度
（空気＝１）：１．２
ｌｏｇＰｏｗ（オクタノール／水分配係数）：－０．２４

---

10. 安定性及び反応性

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 加熱により容器が爆発することがある。燃焼により有毒ガスを発生する。無水クロム酸、過塩素酸ナトリウム、塩素酸ナトリウム、亜塩素

酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、過酸化水素、硝酸、硝酸アンモン等と激しく反応し、発火することがある。また空気より重い為、かなり遠方まで床面に沿って広がり、引火爆発する可能性がある。

---

11. 有害性情報

急性毒性 ・・・・・・・・・・・・・ （５０％致死量等を含む）
経口：ラット　ＬＤ５０　９．７５ｇ／ｋｇ
経口：ウサギ　ＬＤ５０　７．９２ｇ／ｋｇ
経口：人　　ＬＤ　　７５ｍｌ
吸入：ラット　ＬＤ　　１２６６００ｐｐｍ
吸入：マウス　ＬＤ　　４２２００ｐｐｍ

刺激性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 眼を刺激、蒸気は眼、気道を刺激
眼　：ウサギ　１００ｍｇ／２４Ｈ　Ｍｏｄｅｌａｔｅ
皮膚：ウサギ　３９５ｍｇ　ｏｐｅｎ　　Ｍｉｌｄｅ
　　ウサギ　５００ｍｇ／２４Ｈ　Ｍｉｌｄｅ

皮膚腐食性 ・・・・・・・・・・・・ 反復または長期間の皮膚との接触は皮膚炎を起こすことがある。

慢性毒性 ・・・・・・・・・・・・・ 数年にわたり、アセトンの蒸気圧の高い職場で作業していた女性に強い上部気道の刺激、胃炎並びに消化不良、貧血、月経不順、無力症、頭痛、体重減少、肝の肥大、骨及び歯の損傷、及び手に乾燥と脈理が見られた。

生殖毒性 ・・・・・・・・・・・・・ 曝露　哺乳動物：
ＴＤＬ０＝３１５００μｇ／ｍ３／２４Ｈ
Effects on fertility（post－implantation mortality）

---

12. 環境影響情報

分解性 ・・・・・・・・・・・・・・・ データなし

蓄積性 ・・・・・・・・・・・・・・・ データなし

魚毒性 ・・・・・・・・・・・・・・・ 水棲生物　ＴＬｍ９６：１０００ｐｐｍ以上。

その他 ・・・・・・・・・・・・・・・ ｌｏｇＰｏｗ（オクタノール／水分配係数）：－０．２４

---

13. 廃棄上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 認可された処理業者に委託する。可能ならば焼却する。

---

14. 輸送上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【陸上】投げない、陽なたに置かない、通風をよくする。火気厳禁。
【海上】貨物の下積みにしない。火気または熱気のあるところの近接を

避ける。その他、消防法等の法令に定めるところに従う。

---

15. 適用法令

化審法 ・・・・・・・・・・・・・・・	優先評価化学物質
労働安全衛生法 ・・・・・・・・	名称等を通知すべき危険物及び有害物
	危険物・引火性の物
	名称等を表示すべき危険物及び有害物
	第２種有機溶剤等
	作業環境評価基準
消防法 ・・・・・・・・・・・・・・・	第４類引火性液体、第一石油類水溶性液体
麻薬及び向精神薬取締法	
・・・・・・・・・・・・・・・・・	麻薬向精神薬原料
大気汚染防止法 ・・・・・・・・	揮発性有機化合物
海洋汚染防止法 ・・・・・・・・	危険物
	有害液体物質（Ｚ類物質）
バーゼル法 ・・・・・・・・・・・・	廃棄物の有害成分・法第２条第１項第１号イに規定するもの
航空法 ・・・・・・・・・・・・・・・	引火性液体
船舶安全法 ・・・・・・・・・・・・	引火性液体類
港則法 ・・・・・・・・・・・・・・・	その他の危険物・引火性液体類
外為法 ・・・・・・・・・・・・・・・	輸入貿易管理令別表第１の１６の項
	輸出貿易管理令別表第２
	輸入貿易管理令第４条第１項第２号
外国貿易法 ・・・・・・・・・・・・	輸出貿易管理令別表第２
労働基準法 ・・・・・・・・・・・・	疾病化学物質

---

16. その他の情報

【参考文献】

ICSC 国内委員会監訳、国際化学安全性カード（ICSC）日本語版、化学工業日報社（1992）
東京消防庁警防研究会監修、第２版危険物データブック、丸善（1993）
石館守三他監訳、第６版食品添加物公定書解説書、廣川書店（1992）
NIOSH, Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
化学品法規制検索システム　　日本ケミカルデータベース
GHS 仕様モデル SDS　　中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

＊ この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、

物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。